

帰りに売店で買物をしています。23日胃バリウム透視をやり、半分になつた胃の写真をみて感無量でした。然し半年位すると元の $\frac{3}{4}$ 位にふくれることになつています。27日入浴し、退院の許可が出ましたが、休養のため延期してもらい、4月5日函館に戻つて来ました。帰つてから栄養をとることに専念し、3ヶ月で9Kg体重がふえました。5月から午前中だけ病院に顔を出し、6月から無理をしないで1日勤務につきました。さて昔から「医者の不養生」と言い耳痛い言葉があります。然し医者は患者のために心身をすりへらす職業ですから、病気になつても何ら不思議はないのです。殊に十二指腸潰瘍などはストレスから来る事が多いのです。弘前大学医学部の松永教授、この方は日本でも有名な胃腸の大家ですが、それでいて御自分が十二指腸潰瘍になり、遂に胃を手術されたのでした。先生は大学教授の激職にあつて苦労され、ストレスが多かつたのです。然し先生は真面目で酒も全然のまない方なので、ストレスを発散させる場がありませんでした。それで先生は「自分は酒をのまなかつたから十二指腸潰瘍になつた」と冗談を言つておられました。現在の私は健康も回復し最近ではチビリチビリと酒をたしなむようになっております。酒は用い方によつては、当然毒になりますが、一方用い方によつては立派な薬にもなると云う、皆様方が喜ばれる決論が出たようです。

#### ＊ 出席報告

本日の出席	会員42名	出席36名	欠席6名
前回の出席	会員43名	出席40名	欠席3名 92.86%
他クラブ状況	函館RC 91.29%	函館東RC 95.18%	
3月の平均	17位函館北RC 97.11%	30位函館東RC 94.0%	
	39位函館RC 92.89%	44位森RC 91.20%	

## The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第261号

1968~1969-5-7

函館北ロータリークラブ

第247回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

### 本日のプログラム

“ 函館圏の問題点 ”

函館市企画部長 宇佐美栄彦氏

第246回例会記録 1969-4-30

- ＊ 司 会 深瀬会長 ＊ 斉 唱 手に手つないで
- ＊ ビジター 坂倉治平君(山口県長門R.C.陶芸工)
- 福田哲郎君(札幌一幌南R.C.商業銀行)
- 小松 清君(小樽一南R.C.保存食料品製造)
- 菊地忠義君(森R.C.タクシー業)
- 村田喜一君外10名(函館R.C.)
- 堀田政次郎君外4名(函館東R.C.)

#### ＊ 会長報告

去る27日日曜日に函館クラブがホストでインターシティーゼネラルフォーラムがあり大変盛会でありました、折角のいいお天気でゴルフの好きな方には大変お気の毒でしたがそれ以上に有効にお過しになつた事と皆様と共に同慶に堪えませんが、討論の主な内容を申し上げますとクラブ奉仕部門で北クラブの意見を糺され出席の問題で結局出席は出席委員長とプログラム委員長と親睦委員長の3人が提携してやるのが大事であるという事で他クラブからも賛成意見がありました。又函館クラブの高野会員から出た職業奉仕の問題ですが職業奉仕の事例研究というのがあり北クラブから私が此の問題について我々ロータリーアンは昼の会合は顔を知る会であり夜の会合は心を知る会であると申しましたが森クラブからも色々参考意見が出されました。要するに非常に盛会でありましてあらためて函館クラブにお礼を申し上げます。

＊ 大鎌函館 R. O. 会長挨拶

去る27日行なわれた都市聯合討論会は165名お集まりの予定でしたが生憎の好天でした為に大分ゴルフに向かわれ180名程でございました。大変活潑な討論でして先づ深瀬会長のソングリーダーは大変どうに入つたもので深瀬先生の学と技術を見せて頂き藤山一郎さん以上の盛り上がりがあり厚く御礼申し上げます。当クラブの速藤先生、俣野先生、その他活潑な応答、又リーダーとして御活躍下さいまして盛り上がりあり滝本バスターガバナーも大喜びでありました、皆様のお蔭で大成功であつた事をここに厚く御礼申し上げます。

＊ 次期会長外山副会長の役員報告

来年度の役員を仰せ付かり皆様には印刷されたものがお届けの事と思ひますが深瀬会長をあとを継ぎ全力を尽してやりたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

＊ 俣野社会奉仕委員長

来月7日第1回例会日に於てクラブで進行しておりました特殊教育に貢献されている先生方をお選び致しましたのでお名前を申し上げます。港中学校姥名先生、新川中学校中山先生、万年橋小学校大槻先生、この御三方に感謝状と記念品を差上げる事になりました。

＊ 幹事報告

1. 1月から3月までの会費未納の方が7名おられます、早目に御納入御います。
2. 4月から6月までの会費も御案内してあります。これで今年度最後になりますのでなるべく早目にお振込み願ひます。

＊ 卓話 “酒とお茶” 函館大学教授 村田喜一氏

数日前にインターンターゼネラルフォーラムがございましてこの出席した時に一寸思ひ付いた事がございましてそれ少し付け加えてお話ししたいと思ひます。

十年程前に函館 R. O. の雑誌委員長をやつておりました時に従来ロータリーアン誌を全員購入していましたがこのロータリーアン誌を私は自分も中止すると共に各会員に対し希望購読という事に提言し購読を決めました、ところがロータリーアン誌が会費と共に含まれました、何でも数丈け増やすというやり方になりました。しかし日本人の語学力からして私自身の事を申し上げ申付けありませんがこの雑誌が全員購読などとは全くナンセンスであります、特に私

が入会した当時から私達の機関誌としてロータリーの友が出ております。日本では未だ44%の人がこのロータリーアン誌をとつています。ところが私達より語学力の強いイギリス、フランス、イタリー等1963年に調べた結果、イギリス全体で176部、フランス140部、イタリー820部をとつているに過ぎませんでした。何も見ないで数丈け多くというのはロータリーアンとしての何の意味があるかという事に疑を抱くものであります。

又出席率の問題は今の問題と異いますが出席する事に意義があるという事は良くわかります、しかし形や数丈けにこだわりはしないかと私には思われるのであります。出席率に100%以上というのはあり得ません、日本以外に100%以上という数字を用いている所は殆んどないと思ひます、私も気を付けてヨーロッパを18ヶ所程歩きましたが一ヶ所も100%以上の数字を書いている所はありませんでした。一例ですがローマの南クラブに出た時出席カード等はなく、テーブル上に紙が一枚あり放射線上にサインするだけです。出席率の報告もなく、ニコニコボックスもない。それで隣のアントニープロフィクターに訊ねました処、率にこだわる出席でありたくない、真のロータリーの精神を生かす事の出来る出席でありたい、ロータリーのメンバーは仕事に忠実である事が優先する。だから60%、86分等という事は考えない、こうしなければならぬ程仕事を支えている人はむしろ欠席して与えられている仕事に精励すべきだ、出席する以上謹厚を高め奉仕の機会につながるチャンスを持たなければならぬ、形式でなく精神であるという事が良く耳に残つています。ニコニコボックスも金額が多ければ熱意がある立派なクラブであるというガバナーも居つたわけでその為集める事にのみきゆうきゆうとし金額が多くなる事に得々としている委員長が出て参りました。額や数が多い事につまらないエリート意識さえ覚え事足れりとする様になつて来た事は誠に残念でございまして。ロータリーのテクニックを習つて精神を学ぼうとしないのでないかと私は考えます。

お茶は禅から発したものでこれは形式ではなく精神でございまして。初め村田珠光という人が千利休が之を形態付けたものです。私達は入門した時は茶をやる場合、すぐ始められません、物の見方、置物の取扱い方、茶器の見方、書物の読み方、墨のすり方、蓋置のきり方等を勉強してから初めてお茶に入らしてもらいました。しかし今一般のお茶は入門するとお点前から始まり単にテクニックであつて本当のお点前の物真似に過ぎないのであります。ロータリーにしましてもお茶にしましても本当の精神を忘れてはならないと思ひます。

本日のプログラム

“今後の造船界” 函館トック造船部長

古宮守雄氏

才247回例会記録 1969-5-7

- ＊ 司 会 深瀬会長 米 斉 唱 君が代 奉仕の理想
- ＊ ゲ ス ト 中山正一氏(新川中学校特殊教育指導)  
宇佐美茂彦(函館市企画部長)  
小 林氏(富井氏のゲスト)
- ＊ ビジター 井後武君(札幌RC郵便事業)  
富井徳蔵君(松前RC)  
新谷武四郎君外12名(函館東RC)  
大沼文雄君外10名(函館RC)
- ＊ ニコニコ・ボックス  
誕生祝 戸栗君  
結婚祝 森 正君, 塚田君, 青柳君, 戸栗君
- ＊ 新入会員御紹介  
————— 福田哲郎君 —————  
○ 生年月日 大正13年1月2日生  
○ 勤務先地位 北海道拓殖銀行万代町支店 支店長  
○ 御 家 族 奥様トミ子さん, 長男富郎君(札幌東高3年)  
長女裕美子さん(函館の場中2年)  
○ 趣 味 園芸・読書  
○ 学 歴 満州国立新京法政大学卒業  
○ R, C 歴 札幌幌南R, C 親睦委員 出席委員等

本論のお酒のお話になりますがお酒は保健上有害でこそあれ何の益する所なく時として悪徳の総本山の様にかえられておりますが少し残酷過ぎると思えます。多量の摂取は身体に害があつて益は無いという事になります。適量に飲む事は非常にいいものでございます。例えば総ての飲食物は胃腸によつて長時間消化作用を受けまして始めて吸収されるものですがこのアルコールと手術の病人に使われる葡萄糖だけは普通消化器を煩わせないでその儘吸収されるわけでございます。そしてアルコールは1グラム7カロリーと云う高率のいいエネルギーを持つていますから私は少ない量で沢山のカロリーを取るのには非常にいいのではないかと私は感服しております。適量の酒は軽い刺激を与え消化を助け食欲を増進させるばかりでなく吸収が早いために疲れを癒すことが出来るわけでございます。又心理的な面でも心の憂さの捨て所とか、或いは憂いを払う玉帯という事がございまして昨今の様な神経を痛める私達の日常生活には之は一つの清涼剤として用いていいものであろうかと思ふのであります。体内に入りましたアルコールが完全に利用される量が一番いいわけです。その標準は大体1Kgに対して0.8g程度のアルコール量はその98%まで吸収されて何等毒作用がありません。具体的には体重60Kgの人では銚子1本半ビールでしたらやはり1本半位のものになり酒は百薬の長である事が立証されるわけでありませう。

＊ 出席報告

本日の出席 会員42名 出席31名 欠席11名  
前回の出席 会員42名 出席40名 欠席 2名 95.24%  
他クラブ状況4月17日函館R.C. 100%